
まちづくりワークショップについて

■ワークショップの目的

ワークショップとは

- ・参加者が体験し、情報を共有し、協働しながら何かを生み出す創造の手法。
- ・まちづくりや都市計画の分野においては、住民参加手法の一つとして活用。

ポイント

会議形式とは違い自由で活発な意見交換が期待できる。

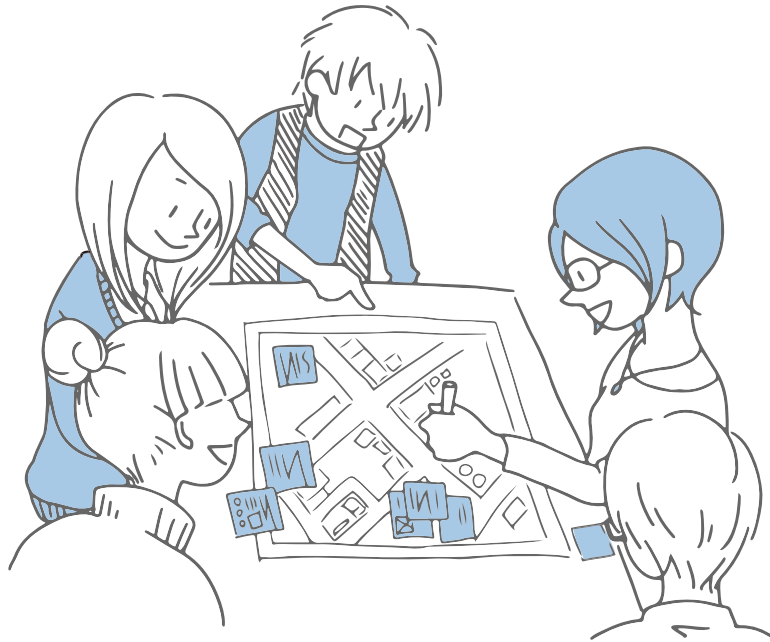
参加者間で意見や意識の共有が図れる。

関係者の幅広い意見を聞きとることができる。

■ワークショップの目的

ワークショップとは

意見を出し合い



シートに記入

△△のための
〇〇が良い。

□□が〇〇で
使いやすい。

××は
〇〇だった。

△△は〇〇とし
て使っている。

□□は〇〇
なのは不安。

××を〇〇に
して利用。



本日のテーマ

- 地区内の良いところ
- 地区内の悪いところ（問題）
- 暮らしのなかの活動に使える公共空間

を見つけよう

目 的

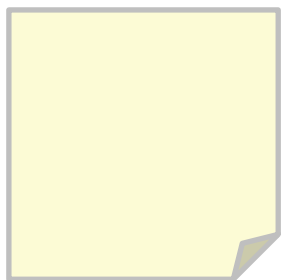
- 地区内で良いところや悪いところ、暮らしのなかの活動に使える場所を見つけてみなさんと共有し、第2回で検討する「理想の暮らしのシーン」を思い描くためのまちの基礎情報として整理する
- 社会実験の場所、暮らしのなかで自分たちが過ごす場所、活動する場所を探し出す



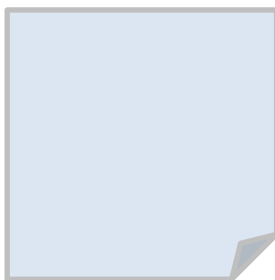
基本ルール

①付箋の書き方

- ・ 1つの付箋には1つのことを書きましょう。
(どんどん新しい付箋に思いっくだけ書き出しましょう)
- ・ **良いところ**は黄色の付箋、**悪いところ**は青色の付箋に書きましょう
- ・ **暮らしのなかの活動に使える公共空間**は赤色の付箋に書きましょう



良いところ



悪いところ（問題）



活動に使える公共空間

基本ルール

①付箋の書き方

- 暮らしのなかの活動に使える**公共空間**の「活動」とは、
右図に示すような「一人でもできる」、
多様な活動（アクティビティ）
のことです。



基本ルール

②意見を出すときの心得

- ワークショップでは答えはありません。思いついたらなんでも意見を書いてみましょう。
- メンバーの意見を尊重し、批判しないようにしましょう。
- 他の人のアイデアに乗っかる気持ちで臨んでみましょう。
- 意見、発言はできるだけ短くしましょう。



STEP01

- ・まずは個人で書いてみる。（5分）



STEP02

- ・個人で書いた付箋を読み上げながら
ワークシートに貼り付ける。（5分）



STEP03

- ・貼り出されたシートをもとに、意見交換をする。
- ・具体的な場所は図面に示す。（45分）



STEP04

- ・発表。（3分×4班）